

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・語彙力が不足している。 文章読解に時間がかかる。 考えを伝えあうことに躊躇する場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを実施し、辞書の活用機会を増やす。 課題図書等を活用し、長文に触れさせる。 小集団活動を取り入れ、発言しやすくする。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して思考し、判断したことを、説明する力(表現力)が不足している。 課題を見付け、主体的に解決する力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えたり、話し合ったり、考えをまとめる場面を授業の中で増やしていく。 課題解決の場面も授業で展開していく。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> 計算力など、基本的な知識・技能の定着知識・技能を活用し、問題解決に取り組む力が不十分である。 数学的な思考・判断・表現力の習得が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、視覚面から数学的な思考力や表現力を深める手立てを講じる。 自己評価カードを活用し、自身の学びを振り返らせる。 少人数クラスで、生徒のニーズに応じた授業を展開する。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を図りながら、知識の活用と適切な科学的思考・表現をすることおよび、観察・実験技能の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使用し、分かりやすい解説、練習問題等を行う。 実験・観察の実施、結果と過去の学習内容から導き出される考察を文章等で記述させる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識・技能の習得や、表現技能の向上、主体的に鑑賞する力が不十分である。 授業規律を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内評価と励ましなどの声かけを行う。 理解しやすいワークシートを作成する。 生徒同士による教え合いや、評価を工夫する。 曲の分析や批評のためのワークシートを作成する。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組む生徒が多いが、進んでいる生徒と遅れている生徒の差が開いている。また、完成度を高める前に完成とみなし、提出してしまう生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が作業手順を理解し、制作過程に応じた作業がスムーズにできるよう、プリントの活用や机間指導によりアドバイスを行う。 	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な運動技能の習得や、戦術を練るなど、深い学びを目指す。 ①自己分析 チーム分析力の向上 ②課題解決のための手立て 	<ul style="list-style-type: none"> 単元別評価の工夫として、ワークシートを充実させる。 ICT機器を活用し、自己分析力の向上を目指す。 	
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の定着を目指す。 生徒一人一人の技能面の向上が課題である。 支援が必要な生徒への配慮を充実させる。 	<p>(技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容の確認や学習の振り返りに、タブレットPCやICT機器を活用し、学習内容の定着をおこなう。机間指導をおこない支援の必要な生徒への個に応じた配慮をおこなう。 <p>(家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークノートを活用し学習内容を確認し、家庭生活の自立に向けて技能を向上させる。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を図る必要がある。 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成していく。 少人数授業の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実生活に則した場面を設定し、積極的に言語活動を行う。 学年ごとに共通の指導案とワークシートを使用することにより、少人数授業の一貫性を保持し、効率的かつ充実した授業の確立を図る。 	